

【平成26年第4回伊豆市議会定例会議事内容】

小長谷順二通信

12月議会

議会改革特別委員会設置

Vol.9号

平成 26 年度の補正予算について主な内容は、衆議院議員総選挙に伴う選挙費と人事院勧告に基づく職員及び特別職の給与費の増額、そして 10 月の台風による災害復旧費の増額などがありました。

条例の一部改正について主なものは、「伊豆市天城会館条例」、出産育児一時金を 42 万円に維持するための「伊豆市国民健康保険条例」、平成 27 年 4 月 1 日から修善寺郷土資料館が伊豆半島ジオパーク推進協議会の中央拠点として整備されるため「伊豆市資料館条例」などで、条例の制定について主なものは、環境の保全及び創造について基本理念を定めた「伊豆市環境基本条例」、熊坂保育園他 3 園を伊豆市立認定こども園として設置する「伊豆市立認定こども園条例」などでした。すべて可決・採択しました。

小長谷順二 後援会事務所
〒410-3302 伊豆市土肥 450-7
TEL/FAX 0558(98)0400
<http://jkonagaya.blog.fc2.com/>(ブログ)
<http://konagayajunji.web.fc2.com/>
Email : photo-ko@vcs.wbs.ne.jp



11月27日 FMISに出演

10月31日の臨時会で議会広報委員長に任命されました。議会広報委員会は「議会だよりの発行」、「ホームページ」及び「FMIS」などで、議会活動の様子を市民のみなさまにお知らせするために設置しています。
11月27日にFMISに出演し、12月定例会の日程、主な議案、条例改正、一般質問の内容についてお話をさせていただきますました。
議会の内容をわかりやすく伝えて行けるように努めてまいります。

【行財政改革特別委員会報告】

平成 26 年 3 月定例会において、伊豆市行財政改革特別委員会を設置し、計 10 回の委員会を開催しました。

平成 16 年 4 月の合併に伴う合併算定替への特別措置期間が終了することにより、平成 27 年度から 5 年間にわたり普通交付税が減額されていく中で、定住人口の減少や少子高齢化は進みつつ、災害対策、教育問題など、行政の取り組みべき課題は多様化し、市政運営は猶予を与えない状況になっていく中、行財政改革は喫緊の課題であり、議会として市の行財政への取り組みを支援し、次の 7 つの課題を調査・検討をし、12 月議会の初日に報告書を提出しました。

- 一、ふるさと納税の充実
- 二、市有財産の処分等と市有施設管理の見直し
- 三、市税等収納率の向上
- 四、市長・市議会議員同日選挙
- 五、各種補助金の見直し
- 六、公会計制度の導入
- 七、広域連携の推進

◎伊豆市の未来の為に、市当局、市民、そして議会が丸となって行財政改革に取り組んで行くことが重要です。

【議会改革特別委員会設置】

12 月定例会最終日に議員発議で、伊豆市議会「議会改革特別委員会」の設置が決定しました。

全国的に地方議会の改革・活性化が取り沙汰される中、わが伊豆市議会においても、いかに議会を活性化させ、市民の代表として市民の声を聴き、一緒にまちづくりを進めて行くことが大変重要であると考えており、そのためには、さまざまな角度から議会がどうあるべきか、また市民に開かれた議会にして行くためにはどうしたらよいか、議会としての政策提案や条例制定等、特別委員会を設置し、調査・検討して行くことが大変重要であると考え、次の決議文で採択されました。

「議会基本条例の制定や議会報告会の開催及び、伊豆市議会例規の見直し等について、課題を整理し、その改革及び対策に関する調査研究を行う。」

調査機関は設置の日から調査終了まで概ね 1 年間とし、青木靖、大川明芳、小長谷順二、永岡康司、三田忠男、梅原正次委員で行います。

十分に調査・研究し、伊豆市独自の議会改革を推し進めてまいります。



防潮堤“土肥桜”植栽事業

10月19日（日）、土肥地区大藪・中浜区合同で、大藪公園、土肥ハワイ通りの防潮堤に両地区住民約80名で、合計33本の土肥桜を「潮木桜保護士」指導のもと植栽を行いました。

この“土肥桜”植栽事業は、土肥出身のご家族の方に土肥桜の苗を寄付していただき実現したもので、開会式には菊地市長も駆けつけ、寄付をいただいたご家族のみなさまにお礼のあいさつをし、区民と一緒に“土肥桜”植栽に汗を流しました。

多くの子供達も参加し、自分たちの手で丁寧に植栽をしたので思い出になったと思います。“土肥桜”の成長が楽しみです！

【Q.高く売れる6次産業化の推進について】

一般質問

A.伊豆市の6次産業化は、市場調査、商品企画・開発等で、新たなノウハウや人的なネットワークあるいは資金などを確保する必要があることから、なかなか具体的な事例が広まっていけないのが現状なので、国や県の支援をいただきながら進めて行きたい。

現在、民間企業の取り組みで「天城あまごクラブ」は県の認定を受け、他に市内数社が6次産業化を目指して活動しているので、市として、提案をいただければできるだけの支援をし、地元ならではの特産品を組み合わせる6次産業化につなげて行きたい。

11月21日に可決・成立した「まち・ひと・しごと創生法案」で、伊豆市の地域資源を活用した産業振興策を早急に提案し、申請して行きたいと思っています。

【Q.初めての地区開催敬老会事業について】

A.地区開催の敬老会の出席率は、昨年の21.5%から40.7%と伸び、参加の皆さんにも喜んで頂いたという話は伺っております。

地区開催敬老会の課題については、会場の確保、会場までの送迎、参加者の出席確認、欠席者への対応、補助金額内での開催が困難、補助金の申請書類等の作成が困難、敬老会を準備する関係者の高齢化、少数化などがありました。また、開催後のアンケート結果から、敬老会を開催しない自治会の回答について、出席者が少ないこと、対象者が少なすぎるからまたは多すぎる、高齢者にとって利用しやすい会場が近くにない、地区役員の負担が大きいためなどがありました。そして、敬老会に参加したくても参加できない方や、自治会が開催しない場合は敬老会自体に参加できないなどの課題もありましたが、課題の検討を担当課と協議し、来年度の敬老会事業の方針を区長会などで報告します。

小長谷順二

検索

ブログ更新中

今回は、議会報告に加え、12月定例会で提出した、「行政財政改革特別委員会」の報告書の詳細を説明し、みなさまのご意見をうかがい、設置した「議会改革特別委員会」の調査・検討内容の参考にしたいと思います。

小長谷順二 第8回 市政報告会開催

平成27年1月16日(金)

伊豆市土肥支所 4F会議室

PM 7時より